

外科後期研修プログラム

科名：一般・消化器外科

責任者：田畑峯雄

診療科全体の後期研修の概要：

まず一般・消化器外科の基盤学会である日本外科学会専門医取得を目標とする。これはその後サブ・スペシャリティー領域の専門医を取得する際に、日本外科学会専門医であることが義務付けられているからである。当科の研修の特徴は、外科学会専門医に必要な手術症例を短期間で経験し、外科学会専門医を取得できることが特徴である。

また、一般・消化器外科領域で扱う疾患は多岐にわたるため、複数の専門医を取得する必要がある。日本外科学会専門医取得後に、目標とするサブ・スペシャリティー領域の専門医取得に必要な条件を満たす関連施設で研修を行い、各専門医取得を目指す。日本外科学会取得後に大学院に進学し、学位を取得してから各サブ・スペシャリティー領域専門医を目指す選択肢もある。サブ・スペシャリティー領域としては特に消化器外科（日本消化器外科学会専門医）があり、日本外科学会専門医取得に引き続いて、肝・胆・膵領域（日本肝胆膵外科学会高度技能専門医）の専門医も取得可能である。そのほかに日本がん治療認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医など他診療科との共通の専門医も取得可能である。これらのサブ・スペシャリティーを含めた専門医取得のために鹿児島大学との連携のコースも選択可能である。

外科専門医コース

【コースの全体像】

初期研修終了後3年間で大学病院を含む日本外科学会認定・関連施設をローテーションし、日本外科学会専門医取得に必要な症例数を経験させる。並行して、同じく専門医取得の際に実績として必要な学会発表・論文作成の指導も行う。それ以降の学位取得、サブ・スペシャリティー専門医取得は本人の希望に沿い計画を立てる。専門医はそれぞれの学会に入会し、定められた期間在籍している必要があるため、早めに計画をたてて、必要な学会に入会する。また研究期間が研修期間とみなされない専門医もあるので注意する。